



先月の山行

- ☆ 10月1日(日) 金剛堂山 山行報告参照
- ☆ 15(日) 野坂岳 山行報告参照
- ☆ 29(日)

11月の予定

- ★ 2日(木) 山遊会例会
- ☆ 5日(日) 富士写ヶ岳
- ☆ 御在所岳
- ★ 9(木) 例会 20時00～
- ☆ 12(日) 大師山～三頭山777m
越前大仏裏から平泉寺下山
- ☆ 19(日) 鷲鞍岳
- ☆ 26(日) 横山岳 1132m
滋賀県木之本、双耳峰

12月の予定

- ☆ 10(日) 金毘羅山
- ☆ 17(日) 鷹落山

冬季は積雪を考慮し決定します。

赤い文字は山遊会山行

山行申込み方法

・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください

山の予定は天候に左右されます。よりhotな情報は

<https://asihiking2.jimdo.com/山行計画-1>

検索し再確認して下さい。

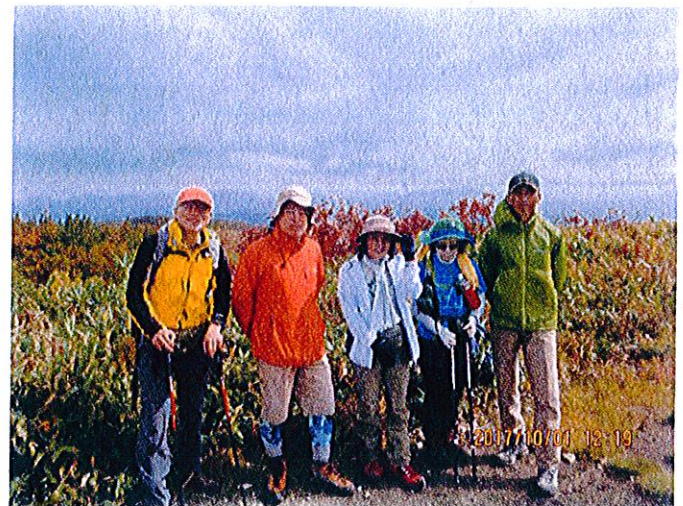
山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

[山行報告]

金剛堂山 1637m

日時 2017年10月1日



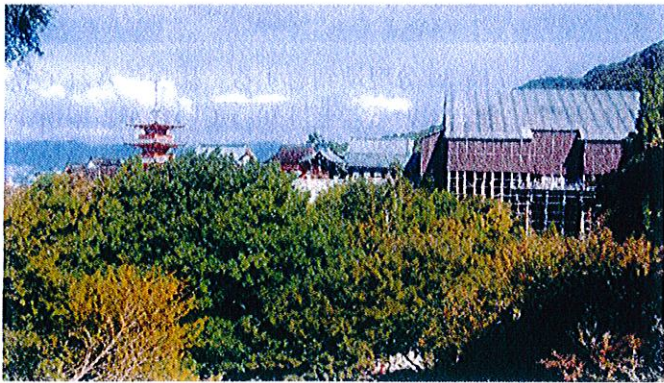
6時集合、7時30分現地到着する。橋が流されて登山口が変更になっていることは知っていたが、場所までは分からなかった。走っていると、登山者を発見。ここが変更の場所なのか、登山者に聞いてみることにした。橋が流されてここに変更とのこと。車を止め登山の支度をする。竜口登山口と書いてある。橋を渡り、川沿いに少し進むと登山口がある。出足からピークが待ち構えていた。物凄い急登、それも30分位は続いたと思われる。息が切れる。その後は普通の登り坂に変わった。アップダウンを繰り返しながら登っていく。ガレ場になったり、粘土質で滑りやすい道になったり、なかなか登り辛い登山道だ。10時40分頃金剛堂山に着く。見晴らし最高360度の眺望。北アルプス全体が見渡せる。剣岳から御嶽山まで。金剛堂山を下り中金剛に向かう。下りていくと草もみじの草原です。草原に曲がりくねった登山道が伸びている。その先に大きな御嶽山。裾野を広げ雄大さを誇っている。左横にも乗鞍岳も裾野を広げている。こんな景色見たことが無い。我が故郷にこんないい山が有るとは、感激です。目を反対にやると白山、後ろは能登半島、何と素晴らしい山なんでしょう。昼食は奥金剛で、雑煮

です。冷たい風の中、温かい雑煮、温まりました。下山は来た道を戻ります。アップダウンを繰り返し、金剛堂山に着く。休憩もそこそこに出発です。急坂の場所に来た。滑りやすい、慎重に下りるが転んでしまう。幸いケガも無く無事山行を終える。



京都一周トレイル 東山コース

伏見稲荷から銀閣寺まで



今日は京都一周トレイル東山コースNo.1からNo.51までですが、このビデオはNo.30までです。No.31からNo.51は②をご覧ください。いつものように近江今津に車を止め、稲荷まで電車で行く。7時50分No.1を出発です。伏見稲荷に着くと今日はお祭りでしょうか？提灯が参道にズラリと並んでいる。本殿に向かうが、人はマバラだ！時間が早いので人が少ない。千本稲荷にも人が少ない。本来なら歩けないほど混雑するのに、歩くには助かる。時々人のいない千本稲荷になるときがある。誰もいない千本稲荷もなかなかいいもんだ！四つ辻まで登ると京都市内が一望できる。福井とは違う、家が一杯だ。四つ辻を超えると、山道になる。ここまで来ると観光客はいない。トレイルをやっている人だけになる。住宅街に入る。以前ここで道に

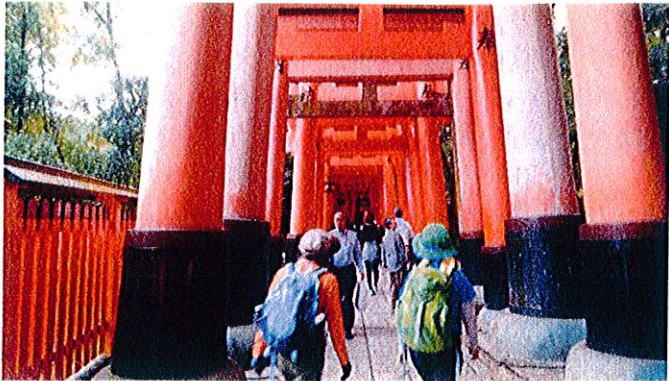
迷ったが、やっぱり覚えているものだ、間違えず進みことが出来た。国道1号線を超え、No.17でコースを外すことにした。清水寺に向かう。道が何本かあったが、間違えず進む。清水寺の柵を超えると左手に三重塔がある。三重塔に行くと奥に工事中の清水寺が見えた。前に出ると左手に法観寺の五重塔も見える。清水寺を通りコースに戻ることにしたが、コースが分からない。地主神社の横に登り口を発見。登っていくと柵がしてある。しまったと思ったが、開いていた。登っていくとNo.19に出た。東山山頂公園に着く。東山山頂公園展望台から京都市内を見る。見る角度が変わっていくので、なかなかいいものだ！この先は下りです。尊勝院を通り栗田神社の参道を通り、三条通りにでる。No.30の蹴上に着く。蹴上からねじりマンボに向かう。煉瓦が斜めにねじってアーチに積んである。何とも不思議な空間です。ねじりマンボをくぐり、左に登って行くとインクラインです。路面電車の跡地です。両端に桜の木が植えてある。サクラの季節は見事なサクラのトンネルになる話をしていると、ウォーキング中の方に満開の桜の写真を見せて貰った。めちゃくちゃ綺麗でした。インクラインを超えると、いよいよ登りです。かなりの勾配の坂を登ると日向大神宮です。ここは京の伊勢と呼ばれている。まるで伊勢神宮のミニチュア版です。外宮と内宮がある。さらに登ると天の岩戸がある。皆岩戸をくぐる。真っ暗だからすぐに出口に出る。No.38No.39の七福思案処でようやく昼食です。昼食を終え再度出発。ここから登りがきつくなってくる。すぐに右側が開けた。山科が一望です。さらに登っていく。途中、ちょっとした展望台がある。岡崎公園一帯が見渡せる。No.45からコースを外れ、大文字山に向かう。No.45からはすぐに着く。



大文字山頂上からの眺望は京都市内が一望、さらに大阪のビル群、あべのハルカスの見えた。大文字の火床に向かう。火床からの景色は、頂上より綺麗だ。街が近づいて見えるのでここから見る景色は最高です。火床の大きな文字の説明をする。本日最後の銀閣寺に向かう。銀閣寺に着くが相変わらず物凄い人出です。門前の商店街を過ぎ、No.51に着く。本日はここまで。京

都一周トレイルはこれで終わりではありません。引き続き一周を目指します。

京都一周トレイル、興味のある方は是非小泉まで、案内いたしますよ！



雨の野坂山 913m

10月15日

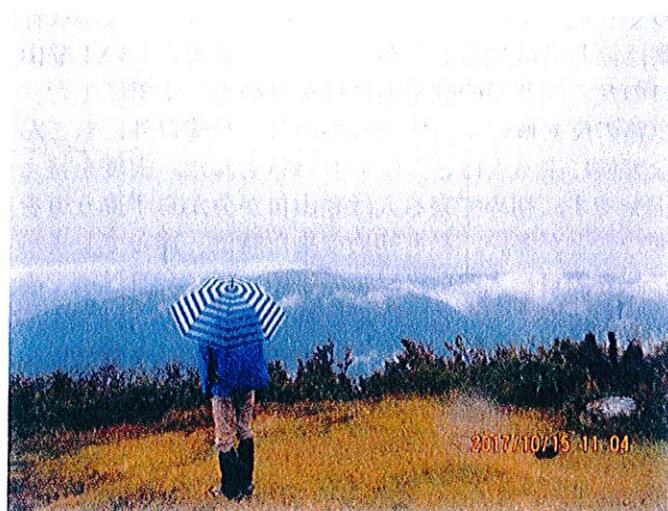


カネキ 7時出発。敦賀に向かう。まだ雨は降ってない。今庄あたりで雨が降りだすの森の登山口を8:10スタート。皆、傘をさす。清家さんの赤い傘が、よく映える。出だしはツルツルした、舗装道路だ。気温は低いけど、やはり、汗が出る。トリカブトの紫色が、雨の中、鮮やか。雨が降るわりには明るく、展望がよく、敦賀市内がよく見えます。途中、お地蔵様がありました。そこら周辺に、見たことのない花が咲いてます。YAMAPの投稿によく出てくる花です。家に帰って調べると、センブリという花だった。胃の薬として大変有名な花です、と図鑑に書いてあった。



一ノ岳、二ノ岳と上がるとガスって、幻想的になってきました。三ノ岳を過ぎ、小屋のある頂上に着きました。10時でした。曇っていて、想像の世界です。

小屋で、カレーうどん、コーヒー、おやつを頂きました。寒い時は、暖かい物が美味しいです。再び、頂上へ行くと、だいぶん、雲がとれてました。しかし、寒くてじっくりと見てられず、下山しました。行者岩によりましたが、これまた、ガスで、絶壁なのか、どうか分からない。はやく、下りて、お風呂に入りたいな～
小雨で、まあまあ、楽しい山でした。



蓼科山 2530m 諏訪富士



台風 21 号の接近する中、木曜日までの予報で土曜日は雨、金曜日になると土曜日の午前中は曇りに変わった。さてどうするか悩んだが決行することにした。朝 3 時集合し出発。長浜辺りから雨が降り出した。中津川に入ると雨が激しくなってきた。長野県に入っても激しく降っている。駒ヶ根に入ると小雨になった。南アルプスの山々が綺麗に見える。雨で空気が澄んだのか、こんなに綺麗に見えるのは久しぶりだ。諏訪市に入ると完全に雨は止んだ。道を間違えたがすぐに修正してピーナスラインに入る。ピラタスの丘を走っていくと紅葉が見頃になっている。紅葉のトンネルをゆっくり登っていく。どこまでも紅葉が続く。こんな紅葉は福井では見ることができない。素晴らしい！登山口の女の神茶屋の駐車場に車を停める。すでに 1 台、道路の反対側に 1 台停まっていた。私達以外にもこんな天候に来る人はどこにでもいるもんだ。支度を整え出発です。初めて来る人は登山口が分からず違う道を進むことが多い。私も初めて来た時は、迷ってしまった。登山口を入るとクマ笹の平坦な道。今日は雨でぬかるみになっている。すぐに登山靴は泥だらけです。やがて登り坂になる。クマ笹の道が終わると最初の急登が始まる。急坂で岩が多い。足の置き場が大変、変に岩に載せると滑し、急坂で登り難い。次第に息が上がって来る。どこまで行っても急登が続く。2100m の地点に着く。振り返ると雲海が広がっている。南アルプスの山だろうか？雲海から顔を出している。雲切れ間から町並みと紅葉が広がっている。晴れた日と違い曇りでもなかなか乙なものだ。ここからはなだらかな道に行く。歩いていくと山頂の岩場が見えた。もうすぐ最後の登りだ。この登りが大変、急坂の上に長い。どこまで行っても登りが延々続く。息も上がって来

る。つらい登りだ。途中上から下りてくるカップルに会う。長野県自然保護レンジャーの方だった。さらにもう一人女性が下りてきた。これで駐車場に停めてあった人達が全員下りて行った。岩場に到着する。鎖場を登り、トラバースしていく。下はガスがかかっている。高度感を感じられない。大きい岩ばかりなので、歩きづらい。濡れているので滑る。かと言って岩に足を乗せないわけには前には進めない。慎重に進む。やがて山頂ヒュッテが見えてきた。台風に備えているのか、閉鎖の準備をしているかわからないが、小屋にベニヤを当てている。頂上に向かう。風が強くなった。寒い！ガスに覆われ幻想的になっている。一瞬ガスが晴れた。広い山頂は大き岩で埋め尽くされこんな光景は他の山では見ることが無いだろうと思う。前に来た時は非常に大勢の人がいたが、今日は他に 6 人しかいない。それも早々に引き上げて行った。山頂には私達 5 人しかいない。百名山貸切になってしまった。蓼科神社の前で昼食です。昼食後は私達も早々に下山開始です。岩場を下りていると雲が晴れてきた。外界の紅葉が見える。これで高度感を感じ、岩場を下りる醍醐味が出てきた。岩場を終え、長い急坂の始まりです。細かい石が多く、素直に下りられない。これでもかと下りが続く。下り終わるとようやく終わったとホッとする。2100m までなだらかな道を行くが、再度急坂の始まりです。今度は岩が大きいし、滑る。これもまた素直に下りられない。先程より短いのでもう終わった感じがした。クマ笹の登山道入るとあと少し頑張ろう！ぬかるんだ道をさらに泥だらけになりながら進んでいく。ようやく登山口に到着した。雨に降られず良かった山行になりました。



spvd9w29@ivy.ocn.ne.jp に送信ください。

畑中義和